

令和7年度 当初予算主な事業

事業名	1か月児健康診査		
予算額	3,310 千円	新規・拡充 継続の別	新規
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的 1か月児に対して健康診査を行い、疾病等を早期に発見し、適切な指導を行うことで、その進行を未然に防止するとともに、養育環境を評価し、養育者への育児に関する助言を行い、もって乳児の健康の保持及び増進を図ることを目的とする。 ○ 事業概要 ①実施体制…委託医療機関において個別健康診査 ②委託先 …京都府医師会（産婦人科・小児科） ③委託料 …5,510円／件 委託医療機関以外で受診した場合は、償還払いとする ○ 予算措置 <歳出>委託料等 3,310千円 <歳入>※母子保健衛生費国庫補助金で対応 (母子保健医療対策総合支援事業) 		
担当所属名	こども未来部子育て支援課	直通電話番号	64 ー 1377

令和7年度 当初予算主な事業

事業名	5歳児健康診査		
予算額	2,260 千円	新規・ 拡充 継続の別	新規
○ 目的 疾病等を早期に発見し、また社会的な発達状況を把握し、適切な指導を行うことで、就学に向けて必要な支援に繋げ、養育環境を評価し、養育者への育児に関する助言を行い、幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的とする。			
○ 事業概要 満5歳児になる幼児（標準的には、4歳6か月～5歳6か月となる幼児）に対する健康診査を行う。 (1)問診（既往歴、精神・神経発達、情緒・行動、生活習慣、子育て状況等） (2)計測（身長、体重） (3)視覚検査（屈折検査） (4)診察（身体的発育、運動機能、理解に関する課題、情緒・行動等の項目について診察を行う）			
○ 予算措置 <歳出>報酬等 2,260千円 <歳入>※母子保健衛生費国庫補助金で対応 （母子保健医療対策総合支援事業）			
			
担当所属名	こども未来部子育て支援課	直通電話番号	64 - 1377

令和7年度 当初予算主な事業

事業名	ペアレントトレーニング講座		
予算額	100 千円	新規・拡充 継続の別	新規
事業内容	<p>○目的</p> <p>こどもとの関わり方や子育てに悩みを抱えている保護者が、講義やグループワークを通して、こどもを理解するヒントや、こどもに合った伝え方、ほめ方のコツを学び、親子の関係をより良いものにし、自信や楽しみの持てる子育てしていくためのサポートを行う。</p> <p>○事業概要</p> <p>公認心理師、特別支援教育士、臨床発達心理士といった資格をもつスタッフによる、保護者向けのペアレントトレーニング講座。メンバーでの共有タイム、テーマごとのミニ学習、ホームワークに基づくセッションを通して、こどもの行動に注目する視点やほめ方、効果的な指示の出し方、行動への対応方法などを学び、一緒に考え、助言を行う。</p> <p>形 態：少人数でのグループ講座（定員あり） 全7回の連続講座（午前中／1回90分・全参加が原則） 対 象：こどもとの関わり方や子育てに悩みや不安を持つ、概ね4歳から小学校低学年までこどもを持つ保護者 場 所：市内施設</p>		
担当所属名	こども未来部子育て支援課	直通電話番号	64 ー 7230

令和7年度 当初予算主な事業

事業名	第34回京田辺市こどもまんなか児童福祉週間メインイベントでっかい砂場といっぱいのみどり！！～みんな集まれタナクロフェスタ～		
予算額	1,647 千円	新規・拡充 継続の別	拡充
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>こどもたちが健やかに育つことは、社会の宝であるこどもたちに対する社会全体の願いであり、すべてのこどもが家庭や地域において、豊かな愛情に包まれながら、夢と希望をもって未来の担い手として、個性豊かに、たくましく育つていけるような環境・社会をつくることが重要である。</p> <p>こうした中、国では毎年5月5日(こどもの日)から1週間を「こどもまんなか児童福祉週間」と定めている。</p> <p>本市では、4月19日(土)～5月28日(水)を「京田辺市こどもまんなか児童福祉週間」として、地域社会、家庭、学校、関係機関、行政が一体となって、それぞれの立場でこどもやその家族等を応援する姿勢を持つとともに、社会全体でこどもやその家族等を応援する気運の醸成を図ることで、「こどもまんなか社会」の実現を目指すことを目的として実施するもの。</p>		
	<p>○ 事業概要</p> <p>京田辺クロスパーク(タナクロ)において、こどもが砂場や農体験などのたくさんの自然に触れ合う環境を活用したこどもが主役となるイベントを開催する。</p> <p>タナクロ全体を利用してテントブース、ステージイベント等を市民団体・大学・事業者とともに実施する。</p>		
担当所属名	こども未来部子育て支援課	直通電話番号	64 ー 1376

令和7年度 当初予算主な事業

事業名	地域子育て相談機関の開設		
予算額	8,000 千円	新規・拡充 継続の別	新規
<p>○目的 令和6年4月開設の「こども家庭センター」機能を補完するため、既存の地域子育て支援センターや児童館等を「地域子育て相談機関（こどもと家族の相談室）」に指定するとともに、新たに相談専門機関「こどもと家族の相談室 ミモザ」を市障がい児生活支援センターに併設で開設する。障がいの有無に関係なく、気軽に発達の不安や子育ての悩みを相談することができ、早期に必要な支援につなぐことを目的とする。</p> <p>○事業概要 住まいに近い児童館等の各施設を「地域子育て相談機関（こどもと家族の相談室）」に指定する。相談への敷居を低くし、誰もが（妊産婦・子育て世帯・こども自身等）気軽に相談できる接点を増やし、子育て世帯等が抱く不安の解消や状況把握の機会を増加させる。 くわえて、新たに相談専門機関「こどもと家族の相談室 ミモザ」を市障がい児生活支援センターに併設で開所し、障がいの有無に関係なく発達の不安や子育ての悩みを相談することができ、早期に必要な支援につなぐ体制とする。 身近な相談機関の開設で、家庭が抱える不安や悩みの傾聴や子育て等に関する情報提供の場を増やし、児童虐待のリスク等の高まりを未然に防ぐものとする。</p>			
事業内容			
<p>○相談室案内看板（各「こどもと家族の相談室」に設置予定）</p>			
担当所属名	こども未来部子育て支援課	直通電話番号	64-7230